

日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会
確率論的安全評価（レベル1及びレベル2）分科会
第12回 レベル2PSA作業会 議事要旨

日時：平成17年3月22日（火） 13:30～17:30

場所：原子力安全基盤機構 第11C会議室

出席者：

委員 梶本、立岩、石川、大野、加藤、倉本、谷川、久持、濱崎、日高、山越 11名

（欠席 住田、黒田、桜本）

常時参加者 荻野、川端、舟山

配布資料：

P4WG12-1 第11回作業会議事要旨（案）

P4WG12-2 標準委員会スケジュール

P4WG12-3 レベル2PSA標準（案）

P4WG12-4 作業進捗状況シート

P4WG12-5 解説1.1：レベル2PSA実施手順の概要

P4WG12-6 解説7.2：解析条件

P4WG12-7 解説7.3：解析コードの概要

P4WG12-8 解説8.1：エナジェティック現象の分岐確率評価

P4WG12-9 解説8.2：格納容器イベントツリーの定量化

P4WG12-10 解説9.1：放出カテゴリ

P4WG12-11 解説10.2：放射性物質挙動

P4WG12-12 <地震手順書>7.6 格納容器健全性に関する評価

P4WG12-13 解説5.2：格納容器健全性に影響を与える負荷

P4WG12-14 解説10.1：燃料からの放射性物質放出挙動

P4WG12-15 解説3.1：格納容器破損頻度およびソースターム定量化のために必要な情報調査、解説6.1.2：格納容器イベントツリーの分岐項目、解説6.2.2：BWRにおける格納容器イベントツリーの例

P4WG12-16 解説7.2.2：事故シーケンス解析

P4WG12-17 解説4.1.2：BWRプラントのプラント損傷状態の分類例

P4WG12-18 解説4.1.1：プラント損傷状態、解説5.1.1：格納容器破損モード、解説6.1.1：格納容器イベントツリーの分岐項目、解説6.2.1：格納容器イベントツリー

議事概要

議事に先立ち、事務局より委員11名が出席しており、本会議が決議に必要な定足数を満たしていることが報告された。

1) 前回議事要旨確認（P4WG11-1）

前回議事要旨について、作業会の位置づけを標準の前書きに追記するような記載となっているが、前書きに書くわけではない旨のコメントがあり、当該コメントを反映することで承認された。

2) レベル2PSA標準（案）（P4WG12-3）

解説のレビューに時間を割く必要があることから、本文へのコメントがある場合には3役宛に連絡し、集約することで合意された。なお、分科会で提案された基本的要求事項／具体的要求事項の体裁については、部会長の意向が確認されてから反映することとした。

3) 解説（P4WG12-5～11、13～18）

以下の議論があった。

（解説1.1）

- ・ 本文との対比がしやすいよう、同じ見出しとする。

（解説3.1、3.2）

- ・ 「格納容器破損頻度定量化のための情報調査」と「ソースターム定量化のための情報調査」は、記載事項が冗長となるので1つの解説に集約する。

（解説6.1、6.2）

- ・ 説明文はPWR、BWRを合体させ、図表はPWR、BWRそれぞれ別に掲載する形にする。

（解説7.2）

- ・ 解析条件を詳細に書き下すと大変だが、簡略化しすぎると本文と同じになってしまう。削除の方向とするが、とり

あえず保留とする。

(解説7.2.2)

- 解説5.2と内容が冗長な部分は削除する。

(解説7.3)

- ドイツGRSおよびフランスIPSNの使用している総合解析コードも参照する。
- 放射性物質のグループ、ソースタームとして何を考えているかについて記述する。
- ~可能性がある、~影響が出る、という記載ぶりではなく、単にコードの違いについて記述する。

(解説8.2)

- エネジェティック現象の分岐確率のように研究成果に基づく値は例示すべきだが、格納容器隔離の分岐確率のように単なるエンジニアリングジャッジに基づく値は安易に流用されることを防止する観点から例示すべきでない。

(解説10.1、10.2)

- 解説の位置づけを明記する。例えば、c) が現行解析コードに入っているモデルで、d), e)は原研の最新知見、等の説明を行う。

4) 格納容器健全性に関する評価 (P4WG12-12)

地震シーケンス作業会からの依頼で本資料のレビューを行ったが、地震PSA標準が要求ベースか手順ベースのいずれを指向しているか明確でないのでレベル2作業会としての的確なコメントはできないという意見が出された。

- 要求ベースか手順ベースなののはっきりさせる必要がある。要求ベースであるなら細かく書きすぎている。
- PDSは地震特有のものだけ記載すればよいのではないか。
- 地震動に応じた手順が必要。

5) 今後の予定

- 第13回作業会予定：4月13日(水)
- 第14回作業会予定：4月26日(火)
- 第15回作業会予定：5月12日(木)

以上